

天沼中だより

令和3年4月20日

杉並区立天沼中学校

<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumachu/>

令和3年度 入学式 式辞 より（抜粋）

校長 松尾 了



先ほど、担任の先生より名前を呼ばれ、元気よく返事をしてくれた皆さんは、今日から本校の生徒です。そして、同時に、中学生としての一步と義務教育としての最後の3年間が始まります。

皆さんは中学校とはどういう所だと考えていますか？ 私は中学校とは「大人、つまり社会人になるための子どもの学校」だと思っています。皆さんが中学生になって大人の仲間入りをした実感をもつのは、きっとバスや電車といった乗り物に乗る時でしょう。今までの子ども料金が大人料金になります。しかし、家へ帰れば保護者の方から時によって「まだ子どもなんだから」と言われたり、「もう大人でしょ」と言われたり、「いったいどっちなんだ！」と思うことがあるかもしれません。しかし、それは仕方のないことなのです。中学校の3年間で体はずっと大きくなります。3年間で20cm、30cm 背が伸びる人は珍しくありません。でも、それに伴って中身も大人になるかという人によってずいぶん異なります。

私は大人になるとは自分で自分をコントロールできるようになること。つまり、自分で立つことができる「自立」のために、自分を律することができる「自律」ができるようになること、だと思っています。

まず、自分の「行動」をしっかりコントロールできるようになってください。忘れ物をしたり、時間を守れなかったりでは人に信用されません。そして次に少し難しくなりますが、自分の「心」もコントロールできるようになって欲しいと思っています。

「心」のコントロールと聞くと、みなさんがまず思いつくことは「我慢すること」ではないでしょうか？心のコントロールは、我慢することばかりでは

ありません。

「思い切って一步を踏み出す勇氣」や『自分から元気を出してみよう』と、明るい気持ちを絞り出すこと、さらには「本当に、どうしようもなくなったときに助けを求める勇氣」など、「前向きな気持ちをつくるためのコントロール」も大切です。

大人と子どもの間を行ったり来たりする中学校生活は、さまざまな悩みが生まれ、迷い、暗い気持ちになることがあるかもしれません。

そんなときは、「前向きな気持ちをつくるための心のコントロール」を思い出してみてください。

皆さんは、決意を新たに今日の日を迎えていることと思います。

これからの3年間、学習をはじめとするさまざまな活動に真剣に取り組んで自分を磨き、自己コントロールできる自律した人になってください。私たちは、真剣に頑張る皆さんを応援します。一緒に頑張りましょう。

この天沼中学校で日々努力を重ね、大きく成長してくれることを願っています。

結びに、保護者の皆様にお願いがございます。中学生はこの時期、自我を形成する大切な時期を迎えます。肉体的にも、精神的にも、周りが驚くほど成長しますが、時には、些細なことでトラブルを起こし、不安定になりがちです。人は、様々な障害や失敗を乗り越えて成長するものです。

私たち教職員は、それを見守り、支援することが責務と考えております。教師は教育の専門家ではありますが、一人一人のお子さんをよく知り、その子にとって最大の教育者・理解者は、ご家族であり、その生活の場である、ご家庭です。

集団で教育する学校、お子さんの最大の理解者であるご家庭、さらに、それらを温かく見守り、ご支援をいただく地域が、同じ方向を見据えながら、協力し合うことで、お子さんの成長をさらに大きく伸ばさせます。

これからの3年間、保護者・地域の皆様の、温かいご支援とご協力を賜れますと幸いです。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。





誓いの言葉 1年



暖かな日差しの中、私たち102名は、本日天沼中学校の入学式を迎えました。

私はこの天沼中学校で過ごす三年間に大きな希望をいただいています。小学校では、たてわり活動というものがあり、みんなでおまつりを企画したり、低学年への接し方を学んだりしました。その経験を中学校でいかしていきたいと思います。

中学校の授業はスピードが早いと聞いているので予習と復習を習慣づけていきたいと思っています。授業の中で理解ができているのか確認し、ノートにまとめていきたいと思っています。

私は小学校で、たくさんのかけがえのない友達できました。自分から友達と関わり、思いやりをもった言葉をかけ、中学校でも友達を増やしていきたいです。

最後に私の好きな言葉があります。それはアルバート・アインシュタインの「想像力がすべてだ。それは人生でこれからおこることの予告編である。」という言葉です。私はこの言葉を知り、想像することと予測することができるになりたいと思いました。

中学校三年間で将来の自分を想像しながら勉強にはげみ、卒業するころには勇気をもち自分の気持ちにまっすぐすすめるような人になっていきたいです。



歓迎の言葉 3年



正門の桜の新芽も色鮮やかに、春の日差しが心地よく感じられる頃となりました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生を代表して、お祝いの言葉を申し上げます。

着慣れていない正装服に身を包み、この天沼中学校へ登校した皆さんの心は、期待や不安でいっぱいだと思います。今までとは違う校舎、違う上履き、今までとは違うものばかり。上級生や先生方も知らない人ばかり。慣れない環境で、分からないことがあったり、悩んだりすることもあると思います。そんな時は先生方や、今それぞれの教室から皆さんの姿を見守っている上級生に遠慮なく相談してください。

この天沼中学校の教育目標は「自主・自律・共生」です。「自主」とは、主体的に考え、判断し、正しく行動すること。「自律」とは、自らの行動に誇りと責任をもつこと。「共生」とは、自他の生命を尊重し、思いやりをもって一緒に生活することです。この三つの教育目標を達成できるよう、日々意識して過ごしてほしいと思います。

また、先輩方から引き継いできた、天沼中学校の五原則の一つである「あいさつ」も、自分から積極的にしていってほしいと思います。

リモート参加の上級生の教室



三年間という時間は、皆さんが思っているより短いです。何となく毎日を送るのではなく、様々なことに挑戦し、様々なことを学び、経験し、それを生かしていきましょう。そして何より、これからの三年間を楽しむための努力をしてください。コロナ禍の中でできることは限られてしまっていますが、今できることを精一杯取り組みましょう。皆さんと送る学校生活を楽しみにしています。

ご入学おめでとうございます！

4月7日 第75回入学式



良いお天気に恵まれ、今年度の入学式を無事に挙行することができました。来賓はお迎えできず、保護者の方は1家庭2名までと制限させていただき、代表以外の上級生は各教室でリモートによる参加となりました。校歌も録音による紹介となり、吹奏楽の演奏もできませんでした。しかし、新1年生102名の立派な態度、元気な返事に、学校全体が温かい雰囲気になりました。

入学式礼法の説明 各教室にて・・・5分でしっかり理解してくれました。素晴らしい！



【A組 担任 吉野翔太先生】



【B組 担任 三嶋繭子先生】



【C組 担任 堀江一徳先生】

上級生と対面式

4月8日、生徒会役員会の企画により、対面式が行われました。



昨年度は放送での実施、一昨年度までは体育館で実施していましたので、今年度の生徒会役員会は初めての校庭での対面式の企画をするのに、ゼロから考え起こさなければなりませんでした。おそらくこれからの1年間、同じように、できないことを数えるのではなく、どうすればできることが増えるのか、みんなでゼロから考える学校生活になります。生徒会役員会の皆さん、委員会やレスキュー隊について説明してくれた皆さんのように、これから全校で工夫して生活していきましょう。

翌日の全校集会は放送で行われました。天沼中での生活のルールやマナーの話や、部活動の紹介がありました。上級生の説明をもとに1年生の各学級では「常任委員会」の委員や係を決めました。4月12日からは1年生の仮入部が始まりました。部活動は3年間の生活を彩る位置付けで、決して学校生活の中心ではありませんが、心も体も鍛えられ、成長できる場でもあります。多くの生徒が所属して自主的な活動を進めています。友達に誘われたから、などではなく、自分自身で体験して続けられそうな部活動を選ぶことが望ましいです。仮入部は23日までです。



教室での委員決め



仮入部風景



常任委員会
任命式
四月十九日

令和3年度・・・新しい生活様式でスタートしました



昨年度に引き続き、油断はできない状況が続いています。緊急事態宣言、蔓延防止措置、と緊張感を強いられはありますが、ウィズコロナの生活様式にも慣れてきたのは事実です。

左の写真は今年度から、「マイエプロン、三角巾」持参の給食当番の様子です。週末に貸出しエプロンを持ち帰って洗濯していただいていたが、感染予防の観点から使い回しはやめて、ご家庭でご用意いただきました。色とりどりのエプロンや三角巾で少し楽しい雰囲気も醸し出してくれています。下段の写真は「黙食」の様子。写真では分かりませんが、一言も話さないで前を向いて食事をしています。ただ、報道委員会が発足したので、給食中は生徒のリクエスト曲を放送室から流してくれています。また、今年度から、机の上に立てられる折り畳みのパーテーション

を配布しました。気になる生徒は給食中も自分のパーテーション（氏名入り）を立てています。授業の中でも、「会話」「発言」があるときには立てて使えます。（普段はたたんで机の前にかけて収納しています）

4/17（土）地域交流会・・・CS委員、学校支援本部員、PTAの皆さんと



昨年度は実施できなかった地域交流会を開催しました。密を避けるため、CS、支援本部、PTAの代表の方が各教室を回ってそれぞれの活動内容を説明してくださいました。生徒の振返りでは「たくさん支えてくださっているんだということを初めて知った」「私たちもその気持ちにこたえられるように行事などでがんばりたい」などの感想が見られました。

後半は地域の方もいらっしゃる中で、天中SNSルールについて、たて割り班で相談、3年生がリーダーシップを発揮して、「マンダラ（曼荼羅）シート」を作成、SNSトラブルをゼロにするための実際の行動について班でまとめました。初めて顔を合わせるメンバーですこし緊張していましたが、上級生が失敗体験を話したり、1年生に発言を促したりしていました。約1年半ぶりの縦割り活動がようやく始まりました。